



いたしち

コミュニティ・スクールだより

令和6年度 第4号

板橋区立板橋第七小学校

校長 土性 知法

令和6年12月23日



第4回 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)

委員会報告

開催日時

令和6年12月6日(金)

14:30~15:45

次 第

- 1 委員長挨拶
- 2 学校長挨拶・学校の活動報告
- 3 熟議
『学校評価から見える
学校の課題の共有と解決策』
- 4 その他
 - ・安全な登校について
 - ・学校支援地域本部の活動報告
 - ・次回の日程確認

その他「安全な登校について」

区の視察を受け、学童擁護員や受付員の立場として、スクールゾーンにおける仕事についての指導がありました。

○児童の誘導であり、車を止めたり迂回させたりすることはできない。児童が通過していることを車に知らせる役目である。

実際に10月21日より違反車数を調べたところ

12月6日までに139台が通り過ぎています。

12月3日には警察の方に来ていただき、状況を見てもらいました。

馬を出さずに、スクールゾーンであることを知らせる方法について考えを共有しました。

◎地面にスクールゾーンと書く。

◎電柱に黄色のスクールゾーンの垂れ幕をたくさん取り付ける。

熟議「学校評価から見える学校の課題の共有と解決策」

●回収率が50%を超えていない。→

・紙で回収していた時の方が、回収率が良かった。理由は担任からの子どもを通しての声かけが行われていた。

・個人面談期間中に回答を受け付けたが、回収率のアップにはなっていない。(6件増加)

・回答がないということは、学校に満足していると考えたらどうか。

●学校のホームページが準備中のままや更新がされていない理由は何か。→

・学校の確認不足であり、現在は記事のアップを行っている。

・以前は、学校支援地域本部が手伝うこともあったようだが、手伝うことはできると思う。

・記事として載せる予定のない項目もあるので、精選をしていく。

●防犯について、板橋区の意識が低いのではないか。→

・以前から電子錠のことは言われているが、動いていない。

・区には相談をしているが、現在の本校の門扉には設置が難しいとの回答をもらっている。また、門扉から玄関までの距離が近く、受付員がいるという状況も急いで付けられないという判断になっている。

・玄関の扉に電子錠を付けることを相談したら、「敷地内に入れられない」考えなので、門扉に付けるべきものであると回答された。

・繰り返し申請を行い、設置されるまでの間は、受付員に玄関の扉の施錠を常時お願いしていく。

この他にもタブレットのことや登下校の見守りのことなどのご意見をいただきました。